



久湊太雅（ひさみなと・たいが）さん
富山県立福岡高校出身
スポーツ健康科学科（2年）

科学的視点で、 未来のアスリートを支えたい。

科学的視点でスポーツ業界を支える人材の育成を。
この思いのもと、設立されたのが福井工業大学スポーツ健康科学部だ。
2020年の東京五輪を前に、同大学で高い学びに挑戦する学生がいる。

技術や経験だけに頼らない、
理論に基づいた
サポートを目指して。

今やスポーツの仕事は多様化、専門化している。そこではスポーツ経験者というだけでなく、情報処理やビジネスなど専門性を持つ人間が求められる。2015年に誕生した同大学のスポーツ健康科学部スポーツ健康科学科では、工業大学ならではの科学的視点でスポーツ・健康を学び、幅広く活躍するスペシャリストの育成を目指している。

久湊さんは同学科の1年生。「新学部の一期生ということでやりたいことにチャレンジさせてもらってきました。最新の機材を使いながら先生と学生が一緒に研究しています」と話す。

高校まで野球に夢中だった久湊さん。同学部を志すきっかけとなったのが部活のスポーツトレーナーとの出会いだった。「選手の状態を見てメニューを作ったり励ましたり、身体と心の両方をサポートしている姿に惚れました。今度は支えられる側から支える側になりたい



ジュニア・ナショナルチームの強化合宿で計測作業をする久湊さん

データから選手の心身を読み解く。 スポーツの最前線で学んだこと。

憧れを確かな目標に変えたいと、スピードスケートのジュニア・ナショナルチームの強化合宿に同行したこと。JISSの科学スタッフだった同大指導教員の前川先生に「興味があるなら一緒に来ないか」と声をかけられた。「僕の役割は、選手のコンディショニングやトレーニング時における動作分析のための映像撮影、そして心拍の計測でした。計測データがそ

の日の指導や練習メニューに即フィードバックされていく。データを見ながら先生が選手に的確に声掛けしているのも勉強になりました。計測の正確さが必要で緊張の連続でしたが、忘れられない経験となりました。そこではジュニア選手が強くなる過程に自分が関わる喜びを感じたという。卒業後の夢はJISSで働くこと。2018年の冬季平昌五輪、そして2020年の東京五輪では科学スタッフとして選手のサポートに関わりたい。そのためにも残り2年間で専門的な知識をさらに身に付け、多くの経験をしたいです。久湊さんは着実に歩みを進めている。

自分なりに工夫することで 技術力を高めていきたい



株式会社北陸電設 勤務 横山 一気さん 2014年 工学部卒

現代社会は、エアコンやテレビなど日常生活で使うものの多くが電気をエネルギーとして動き、スイッチひとつで快適な暮らしを過ごすことができます。株式会社北陸電設は電気を安全に使用できるよう工場や学校やビルなどの建築物に供給、伝達する工事を施工しています。建築物の構造や機能を見極め、より効率的で安全な電気の配線方法を検討し、ベストな提案を行い施工することを目指しています。現場では、設計図で示された回路をどんな道具を使って、どんな手順で行うかで、工期や施工品質が変わってきます。僕は入社以来、現場での施工を担当しています。熟練作業員から技術を学びながら、今では照明設備やコンセントの設置などを任せられるようになりました。知識や経験を活かしながら、よりよい施工方法を自分なりに工夫していくことが技術力を高めていくことだと思っています。

大学では、バレーボール部の主将を務めていました。優秀なプレーヤーではありませんでしたが、その分、どうしたら強くなれるかをメンバーと話し合いながら、練習方法や作戦を工夫してチームづくりを行い、北信越大会、北陸大会とも優勝できました。社会人としても、作業を行うメンバーとのコミュニケーションを大事にし、自分の果たすべき役割を担って、よりよい成果を上げていきたいと考えています。



Q 国公立大学より経済的に学べる大学はありますか？

A 福井工業大学には
独自の奨学金が
あります。



一般選抜奨学金制度 ※		一般入試 前期	センター試験利用入試 前期 (学費減免制度・返還不要)
第1種	入学金 全額免除 + 授業料 全額免除	★工学部・環境情報学部 年間の支払総額 35 万円 ※スポーツ健康科学部 37万円	★工学部・環境情報学部 年間の支払総額 64 万円 ※スポーツ健康科学部 62.5万円

※但し、毎年度末に学業成績による継続審査を行います。